



『歓喜の歌』 ファンキー・ヴァージョン

ロック系のリズムでアレンジしました。編成はドラム、ベース、ギター、キーボードなど、バンドのイメージです。全てのパートをピアノ1台が網羅するためにも、太くてパンチのある音色で弾くのがフィットするでしょう。左手は、最後までゆるぎないベース・ラインに徹してください。しっかりとビートを刻むセンスが必要です。

推奨 / トレーニング

8ビート・トレーニング (p.116、118)

ベース・ライン・トレーニング (p.120)

グリッサンド・トレーニング (p.134)

♩=140

mf

5 (2nd time 8va---)

9

13 (8va-----)